

『パンツ・プロジェクト』 ▶小説：小学校高学年～

キャット・クラーク 著 / 三辺 律子 絵 / あすなろ書房

女子はスカート、男子はパンツという校則に対し、主人公が選択の自由を求めて革命を起こす学園ストーリー。

軽快な文体なので、読書が苦手な人でもサクサク読めます！



『スカートはかなきゃダメですか？』 ▶ノンフィクション：小学校高学年～

名取 寛人 著・マツト 和子 絵 / 理論社

幼い頃から自分の性に違和感を覚えていた埼玉県出身の名取さん。男性になって生きることを決めた筆者の思いが綴られた自叙伝。

性別を変えて生きることの喜びと苦悩が詰まった一冊です。

『君の顔では泣けない』 ▶小説：中学生～

君嶋 彼方 著 / KADOKAWA

体と心が入れ替わってしまった高校生の男女。別の性を生きることに戸惑いながらも、成長しそれぞれの人生を歩んでいく物語。

自分だけ自分ではない体で人生を生きることの難しさ、葛藤がリアルに表現されていて惹き込まれます。



白岡市では

令和5年1月1日から「白岡市パートナーシップ宣誓制度」を開始しました。この制度は、パートナーシップの関係にある2人の宣誓を、市が尊重し、パートナーシップ宣誓証明などを交付するものです。証明書の交付により、法律上の権利や義務は生じませんが、性的指向や性自認に係る性的少数者の困難や生きづらさの軽減につながり、自分らしく活躍することができる、一つのきっかけになることを期待するものです。

埼玉県では

令和4年7月に「埼玉県性の多様性を尊重した社会づくり条例」が施行されました。この条例は、全ての人の人権が尊重される社会の実現を目指し制定されたものです。また、埼玉県教育委員会では、性の多様性の尊重に係る「児童生徒／教職員用リーフレット」を活用し、男性・女性という2つの枠組みではなく、多様で豊かなものという考え方の変化に理解を深め、役立てています。

性差にとらわれる事なく、誰もが自分らしくありのままに生きていけるよう、さまざまな違いを認め合い、尊重し合える優しい社会になればいいなと思いました。(阿部)  
学校ではあまりLGBTQについて触れる機会がないというお話を聞き、私は是非家庭の中で、本を通して考えることができたらと今回のテーマを取り上げました。  
人の性は男か女か、0か100かではなく、グラデーションだということをこれらの本から感じることが出来ます。みんなちよつとずつ、いろんな要素が入っているから、人って面白いんですね。(江口)  
しらおか男女共生広報紙編集委員会委員 阿部 多喜恵 江口 佐知子

問合せ 地域振興課人権担当 ☎ 0480(92)1111 内線 385

# ハーブティ

～女と男をかんがえる～ ハーブティ：「ハーブ (herb)」は薬草のことで、茎や葉を生きた乾燥して使います。これが心と体にバランスのとれたよい刺激を与えることから、女と男も互いにバランスのとれたよい関係であるように、また、一杯のお茶から地域のネットワークも広がれば…という願いがこめられています。

## 『家族で考えるジェンダー』



“性の多様性やジェンダーについて、子どもにどうやって教えよう？”

身近でたいせつなテーマにも関わらず、そう悩む保護者のかたは多いはず。そんなお悩み解決のヒントになる本を、教科指導補助員（図書館教育）の先生にご紹介いただきました。



秋道 明子さん  
(教科指導補助員(図書館教育))

性の多様性やジェンダー問題について考えるのはたいせつなことです。家庭内でいきなり話題にするのは難しいかもしれません。

ここに紹介した本を読むことが、親子で知識を深めたり、ご家族それぞれの体験や思いを語り合ったりするきっかけになれば嬉しいです。

…作品説明 …おすすめポイント



『いろいろなかぞくのほん』 ▶絵本：幼児～

メアリ・ホフマン 著 / ロス・アスキス 絵 / 杉本 詠美 訳 / 少年写真新聞社

世界のさまざまな家族がイラストで紹介されており、多様性を学べる一冊。  
カラフルで読みやすく、家族にはいろいろなかたたちがあっていいということを教えてください。

『タンタンゴはパパふたり』 ▶絵本：幼児～

ジャスティン・リチャードソン、ピーター・パーネル 文 /  
ヘンリー・コール 絵 / 尾辻かな子、前田 和男 訳 / ポット出版

ニューヨークの動物園で、オスのペンギン2羽がカップルになり、育児放棄されたヒナを愛情いっぱい育てたという実話を基に描かれた絵本。  
パパが2人いる家族。ペンギン社会からLGBTを学べる、心温まる絵本です。



『おんぶはこりごり』 ▶絵本：幼児～

アンソニー・ブラウン 著・藤本 朝巳 訳 / 平凡社

毎日、家事、育児、仕事に追われ大忙しのママ。何もしないパパと子どもたちに愛想をつかし、家出したら家の中が…。  
パパと子どもがいっしょの時に是非読み聞かせたい本。あちこちにユーモラスな表現がかけられており、遊び心あふれる作品。最後のページのイラストも素敵です。